

2024年7月23日

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 合格体験記

1級受検番号NONO.03F3120301 氏名K. T (千葉県 在住)

■1級技能士を目指したきっかけ
私は人事部門にずっと所属しており、2012年に社員のキャリアサポートを行う部署に異動し、当時まだ標準資格と呼ばれていた時代になりますが、2013年にGCDFでキャリアカウンセラーを取得しました。その後、標準資格取得で学んだことの復習と、実務経験があいまって、2級技能士に2014年に合格しました。その続きで1級も、というのがそもそもの始まりです。
■当初の勉強法
1級にチャレンジしようとしたとき、当時、1級に関してはほとんど情報がありませんでした。学科については、1級技能士の会の「キャリアの青本」を参考書にして、過去問を何度も解くことで力をつけ、最初から合格でき、その後も問題はありませんでした。しかし、実技については、ほぼ丸腰での受検となり、散々たる結果でした。
■合格のきっかけ
世の中の的に、2級に関する情報はそこそこあるものの1級に関してはほとんどないという状態が続きました。そうした中でも、各種団体でのスーパービジョンに関する講習はまちまち登場してきており、それらを受けることで学習を続けましたが、総合点は到達しても、部分点で1点足りない2点足りないという状態がずっと続いていました。しかも、4つの部分項目（基本的態度、関係構築力、問題把握力、具体的展開力）で、いつも同じ項目が未達というのではなく、年によって異なっていたということが悩ましいところでした。振り返ってみれば、ロールプレイはそれなりにできたという体感があったとしても、口頭質問が多少しどろもどろになっていたという自覚はありましたので、合格した年は、口頭質問をちゃんとできるように意識し、それが実行できたことが合格につながったかなと思います。
■論述試験対策
論述もロールプレイも問われている能力は同じのことで、それを意識しながら、過去問題について答案を作成しました。論述については、それほど高い点数ではありませんでしたが、初年度の丸腰で受検した回を除いては合格点に達していたので、この苦労は幸いそれほどありませんでした。
■面接試験対策
ロールプレッションを受けて、自分の傾向を知り、そこを意識しながら、試行錯誤を繰り返しました。教育的指導関係を築くということところと、事例相談者の問題を共有し、育成的に関わるということところとのバランスを取るところが難しかったところでした。最近是对策に関する情報も増えてきている一方で、合格率はあまり変わらず、難易度は高まっているように思います。だからこそ学習についての確かな方法と、それに対する努力が必要になってきています。ぜひ頑張ってください。
■受検される方へメッセージ
私の場合、特に1級に関する情報が少ない中、手探りでの受検対策でしたので、合格に至るまでかなり回り道をしてきたと思います。大学等の入学試験で、真の学力と受験勉強とは同じではないように、キャリアコンサルティングでも1級受検対策は、優れた指導者たることについての必要条件でも十分条件でもないと思います。さりながら、試験というものをクリアしようというのであれば、それに対する受検テクニックは必要です。もっと早い段階で本会のことを知っていたら、もう少し近い道が辿れたのではないかと思います。